

発 言 通 告 書

令和6年9月11日

松山市議会議長 原 俊 司 殿

松山市議会議員 岡 雄 也

次のとおり通告します。

発言順位	15	受領日時	9月11日 午後 5時 15分	2 枚中 1 枚目
質問等の方式	一問一答方式		一括方式	発言時間 約 50 分
答弁を求める者	・市長 ・教育長 ・農業委員会会長	・選挙管理委員会委員長 ・監査委員	・公平委員会委員長 ・公営企業管理者	

No.	件 名	発 言 の 要 旨
1	公立小・中学校の臨時休業の取扱いについて	(1) 警報等発表時の対応の周知方法と現状について (2) 臨時休業等における警戒レベルを統一することについて
2	ゼロカーボンシティ松山について	(1) 本市の脱炭素に向けた推進体制について ①「松山ゼロカーボン推進本部」の取組について ②「松山ゼロカーボン推進作業部会」の取組状況について (2) 目標達成に向けた施策のうち市民・事業者・行政の協働の現況と今後の見通しについて (3) ブルーカーボンに関する取組の認識を問う。 (4) 地元漁協組合等と協働し、ブルーカーボンの推進に取り組むことへの見解を問う。
3	スポーツコンベンションの取組について	(1) 本市のスポーツコンベンションの取組と今後の見通しについて (2) スポーツ大会・合宿等開催助成金制度を見直すことについて
4	妊婦一般健康診査について	(1) 令和4年度と5年度のA券とB券の受診率について (2) 15回目以降の妊婦一般健康診査受診費用を償還払いで助成することについて
5	こども誰でも通園制度の実施に向けて	(1) 本市の未就園児の現況について ①対象となる0歳から2歳の人数について ②3歳以上の人数について (2) こども誰でも通園制度に対する本市の見解について (3) 令和7年度事業として、試験的な視点でもって取り組む必要があると考えるが本市の見解を問う。

